

独立行政法人
放射線医学総合研究所
理事 明石真言殿

原子力災害対策本部
原子力被災者生活支援チーム

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る個人線量の特性に関する調査について(協力依頼)

東京電力(株)福島第一原子力発電所における事故に係る避難指示区域の見直しが完了するとともに、今後、避難指示解除準備区域においては、電気、ガス、上下水道、主要交通網、通信など日常生活に必須なインフラや医療・介護・郵便などの生活関連サービスがおおむね復旧し、子どもの生活環境を中心とする除染作業が十分進捗した段階で、県、市町村、住民との十分な協議を踏まえ、避難指示を解除することとされています。

今後の避難指示の解除に向けては、個々の住民の方々の個人線量をきめ細かく把握するとともに、そのデータを住民の方々の健康にしっかり役立てていくこと等が重要と考えています。

原子力被災者生活支援チームとしては、今後、必要な方策を講じていく上では、個人線量の特性等を十分に把握することが喫緊の課題であると考え、放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構の協力を得て、課題の克服に努めていきたいと考えております。

つきましては、貴研究所におかれましては、独立行政法人日本原子力研究開発機構と協力して個人線量の特性の把握に係る調査にご尽力いただくとともに、その成果の情報共有についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。